

京浜ドック(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1968年創業。経営理念は「創・造・楽」。日本郵船グループ唯一の造船所。主な事業は中小型船舶建造及び修繕業、環境事業。
- 2015年、世界初となるLNG燃料タグボート「魁」を建造。また、2024年、「魁」のアンモニア燃料船への改造により、世界初の商用アンモニア燃料タグボートを建造。
- 2025年には、国内初となる完全電化作業船「e-Crea」を建造。現在は日本初の国内メーカー製モータードライブシステムを搭載した電気推進タグボートを建造中。



商用アンモニア燃料タグボート「魁」

計画の概要

- 顧客のカスタマイズ要求と自社の事業効率を両立させるべく、生産思想を改革する。具体的には、建造段階の対症療法的な対応を脱し、開発・受注・設計・調達の段階で生産性阻害要因をあらかじめ解消し生産計画や作業指示を事前に作り込む事業プロセスを構築する。
- この達成のため、受注計画や日程計画の決定ロジック、作業指示・管理の仕組み、業務や作業の方法等を改善する方策群を立案し、全社を挙げて実施する。

＜計画実施期間＞ 2025年12月～2030年3月

＜実施場所＞ 京浜ドック(株) 本社子安工場(神奈川県横浜市)、追浜工場(横須賀市)

